



## 平成25年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年3月8日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼経理部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 平成25年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年4月期第3四半期の業績(平成24年5月1日～平成25年1月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第3四半期	21,909	2.1	641	△31.9	704	△46.3	414	△43.1
24年4月期第3四半期	21,465	3.8	941	3.8	1,312	44.3	728	61.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第3四半期	86.34	—
24年4月期第3四半期	151.72	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第3四半期	27,918		9,859		35.3	
24年4月期	21,773		9,441		43.4	

(参考) 自己資本 25年4月期第3四半期 9,859百万円 24年4月期 9,441百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年4月期	—	0.00	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年4月期の業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	4.4	950	41.8	1,000	△2.1	580	—	120.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年4月期3Q	5,075,500 株	24年4月期	5,075,500 株
25年4月期3Q	270,954 株	24年4月期	270,954 株
25年4月期3Q	4,804,546 株	24年4月期3Q	4,804,601 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
(1) 事業等のリスク	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成24年5月1日から平成25年1月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、欧州債務問題の長期化による海外景気の下振れ懸念、デフレ環境の継続等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻く市場環境も、厳しい雇用情勢や所得水準の低迷、消費税増税等の先行き不安材料からの生活防衛意識による消費者の節約・低価格志向の継続に加え、原材料価格の上昇もあり、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社は、安全・安心かつ美味しさの追及に重点をおいた包装餅及び包装米飯の適正価格での健全な販売及び製品の安定供給に努めるとともに、お客様の消費動向を捉えながら多様化する消費者ニーズに対応した販売企画等の各施策に取り組んでまいりました。

なお、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

包装餅製品につきましては、シニア市場への提案商品である、「美味しさ」を訴求した特定産地製品である「新潟魚沼産こがねもち」「滋賀羽二重糯」や、発売3年目となる5つのやさしい(環境にやさしい、家計にやさしい、飾り場所を選ばずやさしい、女性にやさしい、飾りやすくやさしい)をコンセプトとした「やさしい鏡餅」に対する消費者の認知が広がりを見せ堅調に推移いたしました。また、市場が低価格商品に偏る中、他社とは一線を画した品質重視の販売に取り組んでまいりました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は115億90百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

包装米飯製品につきましては、発売以来製品に原料米の産地銘柄名を明確に表示していることが、消費者の安全・安心意識にマッチし堅調に推移していることを背景に、良質米産地との共同販売促進企画を継続的に実施する販売拡大に努めてまいりました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は103億9百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

その他製品の売上高は9百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は219億9百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

利益面につきましては、原材料価格の上昇や販売促進費等の増加に加え、営業外収益における受取手数料が前年同期に比較し減少したことから、営業利益は6億41百万円(前年同期比3億円減)、経常利益は7億4百万円(同6億7百万円減)、四半期純利益は4億14百万円(同3億14百万円減)となりました。

なお、当社は主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期会計期間の売上高及び利益が他の四半期会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は178億66百万円となり、前事業年度末に比較し64億76百万円増加いたしました。

これは、現金及び預金(前事業年度末比1億72百万円減)、商品及び製品(同1億91百万円減)等が減少しておりますが、受取手形及び売掛金(同52億75百万円増)、原材料及び貯蔵品(同12億76百万円増)の増加、未収還付法人税等2億14百万円の計上が主な要因となっております。

## (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は100億51百万円となり、前事業年度末に比較し3億32百万円減少いたしました。

これは、東港工場包装米飯生産ライン増設及び太陽光発電設備の新設にともなう建設仮勘定の増加により、有形固定資産のその他(前事業年度末比7億60百万円増)が増加しておりますが、損害賠償金等の支払いにともなう供託金(同8億円減)の返還及び繰延税金資産の減少による投資その他の資産のその他(同2億85百万円減)の減少が主な要因となっております。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は150億92百万円となり、前事業年度末に比較し59億83百万円増加いたしました。

これは、生産量の増加にともなう運転資金としての短期借入金(前事業年度末比56億円増)の増加及び未払金の増加によるその他(同6億67百万円増)の増加が主な要因となっております。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は29億66百万円となり、前事業年度末に比較し2億56百万円減少いたしました。

これは、長期運転資金及び東港工場包装米飯生産ライン増設にともなう設備資金の一部調達による長期借入金(前事業年度末比6億50百万円増)が増加しておりますが、損害賠償金等の支払いにより訴訟損失引当金(同8億62百万円減)が減少したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は98億59百万円となり、前事業年度末に比較し4億17百万円増加いたしました。

これは、当第3四半期純利益による利益剰余金(前事業年度末比3億57百万円増)の増加が主な要因となっております。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年4月期の業績につきましては、平成24年12月10日発表の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年5月1日以後に取得(特例措置を適用)した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ9,917千円増加しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,044,303	1,871,992
受取手形及び売掛金	4,285,545	9,561,301
商品及び製品	1,285,223	1,093,224
仕掛品	301,182	178,277
原材料及び貯蔵品	3,293,313	4,569,795
未収還付法人税等	—	214,836
その他	184,605	386,078
貸倒引当金	△3,900	△8,600
流動資産合計	11,390,273	17,866,905
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,074,881	2,143,800
機械及び装置(純額)	2,118,946	2,031,966
土地	1,909,861	1,933,627
その他(純額)	229,768	990,343
有形固定資産合計	6,333,457	7,099,738
無形固定資産		
投資その他の資産	20,880	16,459
投資不動産(純額)	1,991,061	1,982,165
供託金	800,000	—
その他	1,263,510	978,044
貸倒引当金	△25,310	△25,310
投資その他の資産合計	4,029,261	2,934,899
固定資産合計	10,383,599	10,051,098
資産合計	21,773,872	27,918,004

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,141,469	1,249,447
短期借入金	4,750,000	10,350,000
未払法人税等	239,000	4,000
引当金	283,837	126,415
その他	2,694,405	3,362,395
流動負債合計	9,108,713	15,092,258
固定負債		
長期借入金	1,649,700	2,300,100
退職給付引当金	449,890	421,445
訴訟損失引当金	862,201	—
引当金	74,970	74,087
その他	186,643	170,941
固定負債合計	3,223,406	2,966,575
負債合計	12,332,119	18,058,833
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	8,554,237	8,911,413
自己株式	△305,558	△305,558
株主資本合計	9,298,453	9,655,630
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	143,299	203,540
評価・換算差額等合計	143,299	203,540
純資産合計	9,441,753	9,859,170
負債純資産合計	21,773,872	27,918,004

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
売上高	21,465,599	21,909,095
売上原価	13,741,864	14,185,600
売上総利益	7,723,735	7,723,494
販売費及び一般管理費	6,781,885	7,082,448
営業利益	941,849	641,046
営業外収益		
受取利息	685	498
受取配当金	8,531	10,294
受取賃貸料	131,523	133,484
受取手数料	378,732	67,176
その他	68,399	80,645
営業外収益合計	587,871	292,098
営業外費用		
支払利息	122,100	102,754
賃貸費用	74,265	72,458
その他	20,632	52,999
営業外費用合計	216,998	228,213
経常利益	1,312,722	704,931
特別利益		
固定資産売却益	273	29
特別利益合計	273	29
特別損失		
投資有価証券評価損	706	1,176
特別損失合計	706	1,176
税引前四半期純利益	1,312,288	703,784
法人税、住民税及び事業税	467,322	3,744
法人税等調整額	116,016	285,209
法人税等合計	583,338	288,953
四半期純利益	728,949	414,830

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 事業等のリスク

前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」からの重要な変更は以下のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

訴訟事件等について

当社は、越後製菓株式会社(以下、「越後製菓」という。)より、当社が側面に切り込みの入った切り餅を製造・販売する行為が越後製菓の所有する特許権を侵害しているとして、平成24年4月27日付で、19億15百万円の損害賠償を請求する訴訟を提起されております。

なお、当社は本訴訟に先立って、越後製菓から、平成21年3月11日付で、当社の側面に切り込みの入った切り餅5製品の製造・販売等の差止め、当該製品等の廃棄、及び14億85百万円の損害賠償を求める訴訟を提起されておりました。

この訴訟については、平成22年11月30日付で東京地方裁判所が越後製菓の請求を棄却する判決を言い渡しておりましたが、平成24年3月22日、知的財産高等裁判所が、第一審判決を取り消して越後製菓の請求を一部認容する判決を言い渡し、平成24年9月19日に当該判決が確定したことから、当社は判決に従った金銭の支払いを終えております。

平成24年4月27日付で提起された訴訟は、先行訴訟で対象とされていなかった製品及び期間に関する損害賠償を追加請求するものです。

当社といたしましては、先行訴訟の東京地方裁判所判決で認められているとおり、越後製菓の請求には理由がないものと考えておりますので、当社の正当性を主張して行く所存です。本訴訟は、先行訴訟とは別の訴訟であり、訴訟資料も異なるため、先行訴訟の判決の効力が及ぶものではありません。そのため、当社として本訴訟の結果を現時点において予測することができず、本訴訟が当社の業績に及ぼす影響は不明であります。